

体験の風をおこそう キッズたんけんたい①

1 趣 旨 小学校低学年の子どもたちが親元を離れて共同生活や自然体験活動を行い、仲間と関わったり、協力したりする活動を通して、自立心や自尊感情を育てる。

2 期 日 令和2年9月21日（月・祝）～22日（火・祝）1泊2日

3 参加対象 小学1・2年生

4 募集定員 30人程度

5 参加者 30人

6 指導者 国立大隅青少年自然の家職員3人，ボランティア7人

7 日 程



9月21日（月・祝）	9月22日（火・祝）
10:00 受付	6:00 起床・洗面・着替え・テント撤収
10:30 出会いのつどい	8:30 朝食
11:10 ふれあいタイム	8:45 野外炊飯（昼食）
12:20 昼食	・棒パン
13:25 テントをたてよう！	・焼きそば
14:40 たんけんにいこう！	・手作りバター
18:00 夕食	13:20 アンケート記入・別れのつどい
19:00 入浴	13:50 解散
20:00 あそびリンピック	
22:00 消灯・就寝	

8 事業運営上の配慮

- 新型コロナウイルス感染防止対策として、活動ごとに「手洗い・うがいの時間」を設定するとともに、活動時のマスク着用，手指の消毒の励行，ソーシャルディスタンスの確保を参加者に周知した。
また受付時，班付きボランティアに除菌シートを配布して参加者及び活動場所の消毒を適時実施した。
- 小学校低学年対象ということで子供達が意欲的に取り組めるような活動や，友達と協力する活動，自然体験活動をプログラムに取り入れ、時間的に余裕のあるスケジュールにした。
- 生活習慣の意識が高まるよう，自分のことは自分でさせるとともに，自然体験，野外炊飯，生活体験（テント設営），遊び（あそびリンピック）等，多岐にわたるプログラムを実施した。

9 参加者の感想

- テントに泊まったことが無かったのでとても楽しかった。
- 山の中に入ってドングリや松ぼっくりを集めながら探検したのがとても楽しかった。
- 今までにやったことのない，いろいろな「たんけん」ができて良かった。最初は知らなかった人たちも時間が経つにつれて友達になれたので良かった。

10 成果

- 親元を離れた宿泊を伴う生活で不安や緊張を抱える中，各種体験活動や共同生活を体験することで基本的な生活習慣を身に付けるきっかけになり，様々なことへ自信が付いた子が増えた。
- 新型コロナウイルス感染防止対策を意識した手洗い，うがいの徹底，ソーシャルディスタンスを確保した活動が行えた。

